

第5学年 図画工作科 学習指導案 A表現(2)

題材名:「消しあとから生まれる『いのち』」

- 1 日 時 平成29年11月17日(金) 第3校時 10時～11時
2 学 年 第5学年1組 22名
3 場 所 図工室

3つの関わり

題材との関わり

アートのスイッチが入る提案の言葉

(第一次) 普段形を消すための消しゴムが形を生む道具になるよ。消し方によって、いろんな形ができそうだね。消しゴムで絵を表してみよう。

(第二次) 消しゴムで生み出した「いのち」の種から、これまで10～11年変化してきた自分の「いのち」、これから変化し続ける「いのち」を探り出すようにかいてみよう。

仲間との関わり

- 試しの活動で、自分が見つけた表現の工夫を紹介し合うことにより、様々な表現方法を身に付けるようにする。
- 活動の途中で、自分の思いが表せたところを見せ合うことにより、自分や友達の作品のよさに気づき、発想をさらに広げるようにする。

作品との関わり

- ウォッチングタイムでは、自分の思いを表せた部分に「トリミングカード」を置き、お互いに作品を見合う。「トリミングカード」には、消してできた形や色からどんなイメージが浮かび、どのような表現の工夫をしたのかを書かせ、表現の意図や思いを焦点化して交流するようにする。

であう

消しゴムで、絵をかくなんで初めてだ。面白そうだな。やり直せるから安心だ。

さぐる

コンテで塗った画面を消しゴムで消したらこんなふうになるのかな。

みつめる

自分の中の「いのち」のイメージを探りながらかいてみよう。

あらわす

思い通りの表現ができたぞ。あの友達の形や色がいいな。どんなふうにするかできるのかな。

あじわう

消すことで生まれる形があるのかな。思いを形にすることは楽しいな。

つくりだす喜びを味わう児童

題材について

本題材は、**小学校学習指導要領図画工作第5学年及び第6学年の内容A表現(2)**を受け、特にア「感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見つけて表すこと。」、**〔共通事項〕イ「形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。」**に重点を置いて設定している。

コンテで塗り込んだ画面を消しゴムで消すことによって現れる形や色をとらえ、自分の中にある「いのち」のイメージを絵に表す活動である。普段形を消すための消しゴムの消しあとが絵になることの面白さを感じながら、生まれてくる形や色から自分の表したいことを見つけて表現する題材である。自分の中にある「いのち」のイメージに合う色のコンテで画用紙を塗り込み、さらに黒のコンテで塗りつぶした画面を消しゴムで消していく中で、いろいろな形や色をとらえることができる。また、消しゴムの使い方や加える圧力によって形や色を変化させることができること、やり直したい時にはコンテで再度塗りつぶすことによって何度でもやり直しがきくことなどから、児童の表現意欲を高め、一人一人のもつイメージを表現する力を引き出すことができると考える。

児童の実態について

本学級の児童は、図画工作科の授業に関心をもって取り組んでいる。個性的な表現をする児童も多い。しかし、アンケートによると「図画工作科の勉強が好き」と回答した児童の割合は72%であり、学級の約半数の児童が「自分の思ったようにうまくかけない」「作品に自信を持ってない」などと答えている。発達段階として、他者の目を意識したり比較したりするようになり、自分の技術に納得がいかなかったり自らの感性と表現とが結び付かないもどかしさを感じたりしていると思われる。

1学期の「心のもよう」の学習では、心や感情について自分の思い描いたイメージを形や色に表した。ほとんどの児童がいろいろな表現で自分の気持ちを表すことを楽しんだが、発想が広がらない児童や試行錯誤して表現しようとする意欲が低い児童もいた。

指導にあたって

はじめに、教師がコンテで塗り込んだ画用紙を消しゴムで消して見せ、消しあとから生まれる形から絵に表す活動に関心をもたせる。自分のイメージと違うと感じた場合は再度コンテで塗り込めて、また消してやり直すことができることを示し、安心して表現活動にとりかかれるようにする。

コンテを初めて扱う児童が多いため、コンテで描いたりこすったり、消しゴムで消したりする試しの活動を取り入れ、その特徴に気付かせ、見通しを持たせる。その際、消しゴムの使い方や加える力によって、線がどのように変化するか、下に塗った色がどのように出てくるかなどいろいろな表現方法に触れさせる。

児童が全身の感覚を働かせて活動できるよう四つ切りの紙を用意し、コンテで汚れることを気にせず活動に没頭できるように、汚れてもよい服装で取り組ませる。現れる形のよさや美しさを感じながら、何度も消したり塗り直したりを繰り返し、自分の思い通りに表現する喜びをじっくりと味わわせたい。

活動中は、消し方や塗り方を探りながら表現している児童と対話し、思いを受け止めたり、消しゴムの使い方による表現の工夫や形の面白さなどを随時全体に紹介したりする。また、活動の途中で、友達の作品のよさを取り入れられるようウォッチングタイムを設定し、さらに発想が広げられるようにする。ウォッチングタイムでは、自分の思いを表せた部分に「トリミングカード」を置かせ、お互いに作品を見合うようにする。「トリミングカード」には、消してできた形や色からどんなイメージが浮かび、どのような表現をしたのかを書かせ、表現の意図や思いを焦点化して交流させる。

題材の目標及び評価規準

題材の目標

- コンテや消しゴムなどを使って絵に表すことを楽しむことができる。【関・意・態】
- 消して現れる形や色から表したいことを考えることができる。【発・構】
- コンテや消しゴムなどの特徴を生かしながら、消し方による形や色など表し方を工夫することができる。
【技】
- 自分や友達作品を見て、形や色の工夫を見付けたり、よさや美しさを味わったりすることができる。
【鑑】

題材の評価規準

ア 造形への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
・ コンテや消しゴムを使って絵に表すことを楽しもうとしている。	・ 消して現れる形や色から表したいことを考えている。	・ コンテや消しゴムなどの特徴を生かしながら、消し方による形や色など表し方を工夫している。	・ 自分や友達作品から、形や色の工夫を見付けたり、よさや美しさを味わったりしている。

指導と評価の計画

(全5時間)

次	学 習 内 容(時間)	評 価					
		関	発	創	鑑	評価規準	評価方法
第一 次	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> コンテや消しゴムを使って、ぬったり消したりしてみよう。 </div> ○教師の演示から、消しゴムで絵に表す活動への関心を持ち、試しの活動をする。(1)	◎				◎コンテや消しゴムなどを使って形や色を表すことの面白さに関心をもって活動している。	行動観察, 発言
	であう						

<p>第二次</p>	<p>消しゴムで消して現れる形から、自分の「いのち」のイメージをふくらませて表そう。</p> <p>○自分の「いのち」のイメージに合うように画用紙をコンテで塗り込める。(1)</p> <p>さぐる</p> <p>○消しゴムで消すと形が生まれてくることを楽しみながら、消したり塗ったりして、自分の「いのち」のイメージを見つける。(1)【本時3/5】</p> <p>みつける</p> <p>○消した形を生かしながら、表し方を工夫して仕上げる。(1)</p> <p>あらわす</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>			<p>◎自分の「いのち」のイメージに合うように、消して現れる色を考えて塗り込めている。</p> <p>◎消して現れる形や色の面白さを感じながら、自分の「いのち」のイメージを見つけている。</p> <p>◎コンテや消しゴムなどの特徴を生かしながら、消し方による形や色など表し方を工夫している。</p>	<p>行動観察、発言、作品</p> <p>行動観察、発言、トリミングカード、作品</p> <p>行動観察、発言、作品</p>
<p>第三次</p>	<p>鑑賞会を開き、自分や友達作品のよさや美しさを味わおう。</p> <p>○自分や友達作品を鑑賞する。(1)</p> <p>あじわう</p>				<p>◎ ◎自分や友達作品を見たり話し合ったりして、形や色の工夫を見つけたり、よさや美しさを味わったりしている。</p>	<p>発言、ワークシート</p>

本時の展開

(1) 本時の目標 消して現れる形や色の面白さを感じながら、消したり塗ったりして、自分の「いのち」のイメージを見つけることができる。

(2) 準備物

〔指導者〕 画用紙(厚手), コンテ, 消しゴム, 新聞紙, トリミングカード

〔児童〕 汚れてもよい服, 古タオル, 筆記用具

(3) 展開 (本時3/5)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	主 な 評 価 規 準 【観点】(方法)
<p>1 前時までの活動を思い出し、本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消しゴムで生まれる形や色から、自分が思い描く「いのち」の形を探しながら表すことを確認し、意欲を高める。 	
<p>⑥ 消しゴムで消して現れる形や色から、「いのち」のイメージを見つけよう。</p>		
<p>2 自分の中にある「いのち」のイメージをイメージマップに表す。 「どんだんのびていくイメージだ」 「力強い感じがする」 「いろいろな人に支えられてきたな」</p> <p>3 消して生まれる形や色を楽しみながら表したいことを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消したり塗ったりして、表したいことを見つける。 「生まれた『いのち』がどんだんのびていくように表したい」 「『いのち』の力強さを表すにはどのように表そうかな」 「もう一度コンテで塗り直して、もう少し自分のイメージに近づけよう」 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が思い描く「いのち」について、イメージマップに言語化させる。 いくつか発表させることで、「いのち」には様々なイメージがあり、自分が思い描いたものを表せばよいことを実感させる。 はじめに「いのち」の種をかかせ、そこからイメージを広げさせる。 自分にとってよいと感じる形が生まれるまで、消したり塗ったりしてよいことを伝える。 消し方や塗り方を試行錯誤している中から、どのようなことを思いついているか、対話して思いを受け止める。 力の入れ具合や色の塗り重ねなど工夫している様子を随時全体に紹介する。 <p><C 児への手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> どのようなイメージを表したいのか対話を通して、児童の思いが明確になるようにする。 	<p>【発想や構想の能力】 消して現れる形や色の面白さを感じながら、消したり塗ったりして、自分の「いのち」のイメージを見つけている。 (行動観察, 発言, トリミングカード, 作品)</p>

<p>・ウォッチングタイムに、友達によさや面白さを見付け、伝え合う。</p> <p>【仲間同士と関わり合う場面】 「トリミングカード」を用いて、表現の意図やその面白さを友達と伝え合う。</p> <p>「力強い感じを出したかったので、強く消してみたよ」 「みんなに支えられている『いのち』のイメージで、弱く消して下の色を残したよ」</p> <p>・続きに取り組む。 「どんどんイメージを広げていこう」 「〇〇さんのようにやってみようかな」</p> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>・途中で活動を一旦中断し、友達の作品を見合って表現の意図や思いを知ることによって、自分の表現の参考になるようにする。</p> <p>・消してできた形からどんなイメージが浮かび、どのような感じがしたのか、どのような工夫をしたのかを「トリミングカード」に書かせて紹介させる。</p> <p>・取り入れたいと思うかき方など知りたいことがあれば質問するように促す。</p> <p>・友達の作品から刺激を受けることにより、自分のイメージをさらに膨らませ、表現する時間をとる。</p>	
<p>児童のまとめ例</p> <p>「いのち」の力強い感じを表すために、強く強く消しました。</p> <p>輝いている「いのち」の様子を表すために、次は〇〇さんの消し方を使ってみたいです。</p>		

(4)板書計画

11/17 消しあとから生まれる「いのち」

思いに合うように考えよう

④消しゴムで消して現れる形や色から、「いのち」のイメージを見つけよう。

トリミングカード

どんな思いでどのように表したか